



ネモフィラ ぬくぬく冬支度

霜よけシート設置が始まります

国営ひたち海浜公園では、みはらしの丘にてネモフィラの小さな芽が出始めました。12月13日(月)頃からは、いよいよ「霜よけシート」の設置が始まります。ネモフィラの株を冬季の寒さから守るための、大切な冬支度。広大な丘が白いシートで覆われていく様子は、本格的な冬の訪れを感じさせます。年内には設置作業が完了し、冬空に映える真っ白なみはらしの丘をご覧ください。



「霜よけシート」設置の様子 (2020年12月18日撮影)

◆約2週間の設置作業

みはらしの丘では、ネモフィラの発芽を確認次第、霜よけシートの設置がスタート。約4.2haに約2週間かけて、延べ160人程の手作業で行います。約2m幅の帯状の白い不織布を、隣同士を重ね合わせながら張り、ピンで固定していく作業。丁寧に斜面に沿わせながら、丘一面を隙間なく覆っていきます。

<ネモフィラ>

場所:みはらしの丘 植栽面積:約4.2ha 見頃時期:4月中旬~5月上旬 本数:約530万本



ネモフィラの芽 (2020年12月11日撮影)

◆美しい風景づくりのヒミツ

当公園では長年の経験を活かし、ネモフィラが丘一面にきれいに咲きそろうよう、シートの設置順にも工夫をしています。みはらしの丘は斜面の向きや角度により生育環境が異なるため、霜よけシートの「保温性が高く成長を促す」効果によりネモフィラの成長差をコントロール。春に向けた開花の調整はすでに始まっています。

◆冬ならではの見晴らし

冬空に映える、霜よけシートに覆われたみはらしの丘。日に照らされて白銀に輝き、まるでグレンデのような風景を楽しむことができます。また、空気が澄んだ今の時期は、頂上からの眺めもおすすめ。ひたちなか市で最も標高の高い第3頂上(標高58m)からは、筑波山や那須野馬山など遠くの山々まで見渡すことができます。



白いみはらしの丘 (2020年12月23日撮影)

Information
記念の森レストハウス周辺では、アイスチューリップの展示が始まりました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4